

目 次

1. 第 2 回（平成 19 年度）総会報告
 - 1) 平成 18 年度活動報告
 - 2) 平成 18 年度会計報告
 - 3) 広島大学マスターズ会則改正および監査の選出
 - 4) 平成 19 年度事業計画
 - 5) フリートーク「マスターズは何ができるか」
 - 6) 講演「広大時代のこと、その他思い出話など」(西川恭治会員)
2. 浅原利正新学長のメッセージ

1. 広大マスターズ第 2 回総会報告

5 月 26 日（土）、広島大学学士会館 2 階のレセプションホールで、広島大学マスターズ第 2 回総会が開催されました。前日久しぶりの雨で埃が洗われ、窓外にひろがるぶどう池を包む美しい風景は若葉がきらきら輝いていました。

今回は、昨冬 12 月 2 日設立総会から半年しか経っていない忙しい時期の開催となりました。出席者数 19 名。来年度以降、年次総会は 1 年間隔、原則として 5 月末に開催し、晴れがましい気持ちで新会員を迎える所存です。日程が定着し、多くの会員の出席が得られるようになることを願っています。

総会は、安藤忠雄幹事の司会進行で 14 時定刻にはじまりました。まず、金田晋代表幹事がこの半年間の活動の総括と今後の展望について報告しました。つづいて、浅原利正広島大学新学長（本会顧問）のメッセージが読み上げられました。就任（5 月 21 日）早々のお忙しい時期で出席こそ適いませんでしたが、わが会への熱いエールを寄せていただきました（本号に掲載）。

また、東広島市からは木村清教育長が出席され、来賓挨拶をされました。東広島市は生涯学習日本一を目指して、この数年間その体制作り鋭意努力を重ねてきましたが、このたびマスターズが設立され活動を開始することによって、一挙に数段ランクアップされるものと期待している、その期待が並々ならぬことは、マスターズのために平成 19 年度市予算が計上したことに表れている、との大要でした。各種の講座開催や地域おこし事業への参加によって、私たちはその期待に応えながら、自立した成長を一步一步つづけてゆきたいと、思いを新たにいたしました。

報告と協議事項について以下概略を記します。

- 1) 山本義男幹事から平成 18 年度活動報告（別紙）がありました。

例会は、年度を超えた今年 4 月のものを加えると 3 回開催されました。西条御園宇地区にある独立行政法人酒類総合研究所への利き酒を含めた見学会（第 1 回）、西条吉行にある国分寺跡および古代中世遺跡の発掘現場の見学会（第 2 回）、西村清巳先生が NPO を起してやっておられる高原の家七塚への一泊二日の小旅行（第 3 回）。最後の会は、畑仕事もできる服装で参加したのですが、生憎の雨で、結局は屋内で童心に帰って遊ばせてもらうことになりました。だがこのようなヴァリエティに富んだメニューを、これからもっともっと増やしてゆきたいと思います。

「マスターズ通信」を、本号を含めて第 6 号まで発行しました。

東広島市生涯大学システム運営協議会に加盟し、東広島市生涯学習まちづくり出前講座にメニューを出しました。そのメニューに出講を依頼する市民グループがぼつぼつ出はじめたところです。

2) 黒川正流幹事から平成 18 年度会計報告(別紙)が行われました。正会員総数 46 人、出資金 45 万円(利息を除く)の収入があり、会員等への郵便料金、事務用品など計約 5 万 2500 円の支出があり、残りが繰越金になったことが、主な内容でした。なお松水征夫教授(協力会員、前地域連携センター長)が、収支の全体を領収書等とつき合わせ、適正であることを確認されました。

3) 菅川健二幹事から、会則の改正の提案とその理由の説明がありました。旧会則では、会計報告を点検する監査が定めてありませんでした。この度の改正によって、2 名の監査を置くことが決まりました(別紙)。

(改正前)「5 運営(1)……<中略>……代表幹事、幹事(若干名)を選任」(改正後)

「5 運営(1)……<中略>……代表幹事、幹事(若干名) 監査(2 名)を選任」。

そのあと直ちに次の 2 名の監査が事務局から提案され、承認されました。

栗栖良光(事務局、正会員)

松水征夫(社会科学部教授、前地域連携センター長、協力会員)

なお、栗栖氏は、現役時事務畑で活躍され、経理事務に通暁されておられる方です。松水氏は、本年 3 月末まで地域連携センター長を務められ、本会の活動分野をよく把握されており、18 年度会計報告の監査もお願いした方です。

4) つづいて、菅川幹事から平成 19 年度事業計画(別紙)の説明がありました。項目(事業名)は、

会合(総会、例会、懇談会)

地域学習支援(主催講座、出前講座、公民館主催講座)

まちづくり支援(地域おこし事業、まちづくり懇談会)

の 3 本柱からなります。具体的な事業内容については別紙「平成 19 年度広島大学マスターズ事業計画」をご覧ください。

5) 一時の休憩を挟み、コーヒーとケーキを味わう茶話会形式で、出席者の会の今後の活動に向けてのフリートーク「マスターズは何ができるか」の時間がもたれました。東広島市側から、この 3 月まで教育委員会生涯学習部長であった清水迫現産業部長、産業部長から移られた平川現生涯学習部長が立たれ、マスターズに力強いエールを送られました。東広島市では、市長部局の産業部と教育委員会生涯学習部の垣根がずいぶん低くなっているようで、私たちの活動の範囲を考えると、この人事異動は一つの示唆をあたえてくれているようです。

岡本会員からの提案があり、本会の地域への貢献を考えると、講座など座学のイメージから入るよりもっと身体を動かして、協同作業で汗を流すことから始める必要があると説かれました。

たとえば安芸津町大芝島はみかんの島として有名であるが、収穫期の最後には斜面に生える樹からみかんを全部もがなければ、樹勢を弱めてしまう、それが大変な仕事である、学生などに呼びかけてみかん狩り十字軍のような活動ができないか、みかんは持って帰って、うまくさばければ、交通費にいくばくかの小銭稼ぎになる。

このダイナミックな提案は、皆の共感を得て、これをなんとか現実化するために、工夫してみようということになりました。(その後、幹事会で相談した結果、今岡本会員を頭にして具体化の方法を考えてもらっています。応援しようと思いにられる方は、事務局へご一報ください。)

6) 15 時 45 分から、元理学部の西川恭治会員から講演をいただきました。演題「**広大時代のこと、その他思い出話など**」。昭和 47 年度理学部物性学科創設とともに広島大学に赴任し、研究(核融合理論研究センター設立)や大学改革(将来構想検討委員会(21 世紀委員会)答申作り)等に尽力したこと、パグウォッシュ会議を広島で開催し、その先頭に立って活動したこと、広島県物理教育研究推進会を作り、高校生以下の理科教育の底上げに努力したこと、一方で競技カルタ 8 段の腕が現在も健在であることなど、興味深い内容であり、広島大学を拠点に活動してきた私たちの約半世紀を思い出しながら、聴かせていただきました。以下にそのレジュメを再録します。

× × ×

広大時代のこと，その他思い出話など

広大着任 背景と野心
核融合理論研究センター 設立と吸収
将来構想検討委員会(21世紀委員会)の答申
理学部長として
パグウォッシュ会議での感動
近大工学部での教訓
広島県物理教育研究推進会 設立から学長賞まで
病と健康・趣味(競技かるた)----現在の心境と生活---

2. 浅原利正新学長のメッセージ

浅原利正医学部教授は、マスターズ総会の5日前の5月21日、広島大学学長に就任されました。以下は、浅原学長が第2回マスターズ総会によせられたメッセージです。再録いたします。

× × ×

このたび牟田学長の後任を務めることになりました浅原利正と申します。どうかよろしく願います。

本日はせっかくの機会ですが、外せない用が入り本会に出席できないことを深くお詫び申し上げます。また、金田様より本会の顧問就任の依頼をいただきました。喜んでお引き受けいたします。

平成16年からの国立大学の法人化の影響も大きいと思いますが、18歳人口の減少、わが国の経済状況などにより国立大学を取り巻く環境は誠に厳しく、経済財政諮問会議、教育再生会議、総合科学技術会議などで一斉に大学改革の必要性が謳われております。加えて大学間競争はすでに国際間競争に進展しています。このような環境の中で広島大学が自らに与えられた使命を果たすためには、絶えざる自己変革に積極的に取り組み、果敢に挑戦を続けてゆかねばならないと考えております。

これまで多くの先輩方の築き上げてこられた優れた業績を基に、広島大学がわが国の基幹大学として評価され、今後は世界の教育・研究拠点を目指して発展して行くためには学内の教職員の自覚・努力はもとより、卒業生や地域との連携が必要であることは言うまでもありません。大学の使命であります「知の創造」を基として、それを「活用」「継承」してゆくためにも重要なことは「社会貢献を果たすこと」であると考えます。広島大学のキャンパスは東広島市、広島市、それに三原、福山と分かれておりますが、それぞれの自治体の発展と強く結びついており、大学が孤立している状態では大学自体の発展もありえないと考えます。どのように地域と連携し、お互いが支援し合える体勢にするかは今後具体的なアクションプランが必要になると考えております。このことについて本学の教職員OBが主体的に関わっていただけるという心強いお言葉は誠に有難く、「広島大学マスターズ」の諸先輩に心より感謝申し上げます。

「まだまだ現役に引けをとらない退役軍人」と自称されていますが、まさしく豊富な人生経験、広島大学への愛は何よりも強力な「人を動かす力」であると思います。広島大学を愛する先輩方の力強いご支援に心より感謝を申し上げ、挨拶といたします。

今後のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2007年5月26日

広島大学長 浅原利正

なお、問合せ等は、下記宛にしてください。

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F
広島大学サテライトオフィス内
広島大学マスターズ事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

(事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。)

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

編集発送担当より

- * 本便には、つぎの資料を同封しておりますのでご確認ください。
 - 07年5月25日現在の「広島大学マスターズ会員名簿」(表裏2ページ)
 - 「平成18年度広島大学マスターズ活動報告」(片面)
 - 「平成18年度会計報告」(の裏面)
 - 「広島大学マスターズ会則(改正版)」(片面)
 - 「平成19年度広島大学マスターズ事業計画」(の裏面)
- * 事務局から会員の皆さまへの連絡(マスターズ通信を含む)は、原則としてE-Mail またはメール添付資料(MS word 版、PDF 版)でお送りしております。E-Mail では不都合な会員には郵送いたしますので、事務局までお申し出ください。
- * 本号に限り全会員に郵送でお届けしました。